

SEISHIN APPLICATION *CLICK*

—— 適応と前進 ——

Index	P2～P4	【特集】「正念場の持続力が問われる」	金谷貞夫氏
	P5～P6	【コラム1】「SDGsと印刷会社のコンサルティングセールス」	世古真一氏
	P7	【経済】関連情報	
	P8～P9	【情報産業】関連情報	
	P10～P11	【コラム2】「ある日のたわごと」 福田七衛／「学問のすゝめ拾い読み」 横倉建男氏	
	P12	【くらし】関連情報	



井之頭公園（武蔵野、三鷹市）のソメイヨシノ
（読売新聞 2020 年 3 月 25 日号より）

毎々当 CLICK を拝読頂き、編集室挙って感謝の意をお伝え致します。

さて新型コロナウイルス感染拡大の影響は東日本大震災発生時と同じレベルの DI 水準に落ち込みました。これらは業界全般は勿論我国経済界とも同様に申すべきでしょう。互いに充分にこの現況を心して歩みたく存じます。

上記のウイルス感染拡張が急速故に、依頼した記事と時差を生じた事お許し下さい。そのギャップは充分に配慮頂いて拝読下さいますようお願い申し上げます。少人数の編集何かと不備不足を心からお許し頂き、相変わらず愛読頂きたいと存じます。

（編集室）

誠伸商事株式会社

TOKYO	03-5751-3011
SIZUOKA	054-340-1191
TOUHOKU	022-299-6661
KITAKANTOU	028-684-1981
NIIGATA	025-286-9040

生き残りの正念場 － SDGs のねらい－

金谷 貞夫

コロナショックは東日本大震災をしのぐ災害となった。首相が戦後最大の危機とおっしゃったように、あらゆる産業、すべての地方、すべての家計に無差別に影響を与えたところに特徴があり、戦時中の無差別爆撃と同じだ。復旧には長い時間、辛抱強い努力が求められるでしょう。SDGs は時宜を得た問題提起です。

Leave no one behind

これは 2015 年、国連サミットで提唱された地球レベルで人類が存続するために提言した SDGs (Sustainable Development Goals) の key word です。

含意は「一人も取り残さない」ということですが、第 2 次世界大戦の戦勝国がつくった国連という組織の提唱であり、「いまさら」という感拭えません。

国連憲章の前文を読めば、基本的人権と人間の尊厳及び価値、寛容を実行し、善良な隣人として生活し、平和及び安全を維持するための組織と規定しています。20 世紀が第 3 の世界大戦を引き起こさなかったことは高く評価されていますが、核戦争、宇宙戦争を面前に控え、各国が自国ファーストを標榜している現実を見れば、「平和」とはなにかを問い直さなければなりません。

SDGs が提案されたのは、2015 年ですが、私たちはそれほど大きな関心を寄せませんでした。同年 9 月 19 日に、集団的自衛権を含む安保法制が強行採決され、国会中継ばかり見ていたからでしょう。それが、最近になってビジネス界で大きな関心を集めているのは、地球レベルの温暖化、災害の多発、そして、資本主義の限界、物質経済の低成長、金融産業・GAFA の高成長という異常性に対する危機感がなせるわざとも考えられます。

SDGs の特徴は、経済社会の構造が第 5 ステージ（狩猟社会⇒農耕社会⇒工業社会⇒情報社会⇒超スマート社会＝Society5.0）に移行し、地球レベルで抱えている諸問題の解決が喫緊の課題であり、17 項目の改善目標と、169 のターゲットを列挙し、2030 年という期限を切ったところにあります。私は経営学の講義で、「数値化されない目標は目標とは言えない」と説いてきましたが、この提案が 2030 年という期限を切ったことを評価しています。

そして、17 項目の開発目標を、アイコンで標記したことにも大きな特徴があります。先進国と発展途上国とを考慮して施策を浸透させる手段が、文字から映像にシフトしたことです。つまり、問題提起のビジュアル化で、経済力、文化力、大國小國など、バラつき（格差）の大きい国連加盟国を想定している結果と思われます。

しかし、文字時代に育った私たちからすれば、それぞれのアイコンにどれほどの内容があるのかは忖度しかねますので、参考までに、文章化されたものを付記しました。

（太字は、私が特に問題意識を抱いたものです）

<開発目標>

1. あらゆる場所の、あらゆる形態の**貧困**を終わらせる。
2. **飢餓**を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、**福祉**を促進する。
4. すべての人々への包括的かつ公正な質の高い**教育**を提供し、生涯学習の機会を促進する。
5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
（『武士道』第 14 章「婦人の教育および地位」が、問題提起していたこと）

6. すべての人々の**水と衛生**の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

(アフガニスタンにおける中村医師の活動)

7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な**近代的エネルギー**へのアクセスを確保する。

(脱炭素、原発の見直し)

8. 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ**生産的な雇用**と働きがいのある**人間らしい雇用** (decent work) を促進する。

9. 強靱 (resilient) なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

(防潮堤を高度化することで津波を避けられるのか)

10. 各国内及び各国間の不平等を是正する。

(総論賛成、各論反対の現実をどう超克するのか)

11. 包括的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

12. 持続可能な**生産・消費形態**を確保する。

13. **気候変動**及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続的な形で利用する。

15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な**森林の経営**、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

16. 持続可能な開発のための**平和**で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で**説明責任**のある包括的な制度を構築する。

(核戦争、自国ファーストを調整できるのか。北方領土、北朝鮮の核武装、拉致、辺野古埋立など、すべてエンドレスの課題になった)

17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、**グローバル・パートナーシップ**を活性化する。

(アフリカなど、開発途上国は中国の草刈り場、イギリスはEU 脱退、世界秩序のリーダーは誰か)

概観すれば、それぞれが理想系としては納得できるとしても、実現可能性については、絵空事に映ります。先日、丹羽宇一郎さんの話を聞いていました。人間社会も、経済社会も「226だ」と

決めつけています。つまり、優秀な人材、エクセレント・カンパニーは2割に過ぎない。そして、弱者、劣悪企業が2割、残りが普通の人、普通の企業だということです。バブル経済期に、私たちも「1億中流」という意識を抱いたこともありますが、3%の人口の日本が、世界のGDPの15%も占めることは異常現象なのです。

アベノミクスのトリクルダウン政策が絵に描いた餅に過ぎなかったことによっても実証済みです。

そして、国連を主導する戦勝国にとっても、自らのマーケットとして需要の拡大を希求するとしても、それはあくまでも経済性のある市場に限定されるものであって、最貧国を、慈善事業として復興する意識はないはずです。

小泉内閣時代に喧伝された「自己責任論」もありました。コロナ・ウイルスによる感染症も、結局は、自己責任論で終結せざるを得ないでしょう。

しかし、このような制約条件があるとしても、国連が、加盟国の意識革新を期待して、目標やターゲットを定めたことの意義は大きいと思います。

なお、ニュースにはなりませんでした。わが国は外務省が主導して、良好事例を表彰しています。SDGsアワード制により、平成30年(2018)、第1回表彰企業はk k日本フードエコロジーセンターとなりました。

当該企業は、食品廃棄物を液体飼料に精製する事業を営んでいます。この事例を参考に、SDGs事業の表彰基準を見てみます。

1. **普遍性**：食品ロス対策に先見性があり、ロールモデルとなる。

2. **包括性**：社内の障害者、高齢者を積極的に雇用し、**多様な人材**を包括的に活用している。

3. **参加性**：当該事業の賛同する**ステークホルダー**が参加しやすい。

4. **統合性**：食品ロスの**川上**（食品店など）と、廃棄の**川下**（産廃業者など）を統合する結節点の役割を果たす。

5. **透明性と説明責任**：**外部の視察**を受け入れ、品質には**第3者機関**による評価を求め、その結果を開示している。

これらの基準は、事例ごとに適合性を評価するものですが、SDGs 事業の先見事例として、その誘発効果が評価されたものと思います。

次に、17の目標項目ごとに、具体的なターゲットを定めていることにもこの提唱のきめ細かさを読み取れます。

ビジネス等に関連するターゲットについて2～3紹介してみます。

1（飢餓）2-4：2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する。（地球環境の変化、人口増問題は、

軍事力の安全保障に匹敵する食糧安全保障だと思う）

2（水・衛生）6-4：2030年までに、全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し、水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。（首都圏の水源地は裏日本の降雪地域、降雪量に規定され得る。いずれも近未来には枯渇する）

3（水・衛生）6-6：2030年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を行う。（アフガニスタンにおける中村哲医師の活動）

4（成長・雇用）8-10：国内の金融機関の能力を強化し、すべての人々の銀行取引、保険、および金融サービスへのアクセス拡大を促進する。（金融は経済の血液だが、その心臓である金融機関が存亡の危機に瀕している）

5（生産・消費）12-12：破壊的な消費を奨励する非効率的な化石燃料の補助金を合理化する。（大量生産、大量消費経済の再検討）

6（陸上資源）15-2：2030年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な管理の実施を促進し、森林破壊を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で植林と森林再生を大幅に増加させる。（アメリカやオーストラリアの森林火災）

SDGsは、願望を含めて、世界が取り組まなければならない課題を列挙し、具体的なターゲットを明示しています。そして、これらをどう理解するかは私たち個人の認識にかかっています。

世界経済は、AIなどビッグデータを駆使する産業の成長に期待しているが、一方では格差の拡大も避けられません。コロナ感染予防策として、営業自粛、人的接触サービスの回避が力説されています。しかし、これは中小企業の存立条件そのものを脅かすものです。なぜなら、中小企業は小さな市場、個性的なニーズにきめ細かく対応することを強みとしています。私はそれをface to faceのビジネスモデルと位置づけています。非接触サービス排除といっても、医師の問診を否定すれば医療崩壊です。経済の疲弊（崩壊）を回避するには、中小企業の人的サービスこそ必要不可欠です。コロナ対策として、慎重に、慎重を重ね、災いを福に転じることが、「一人も取り残さない」というSDGsの要請に応えることにもなります。

※破線部分は筆者の独断によるものです。

■プロフィール

金谷 貞夫(かなや さだお)

1935年千葉県生まれ

北海道大学卒

国民金融公庫(現日本政策金融公庫)千葉支店長、調査部長、総合研究所副所長等を歴任

青山学院大学非常勤講師

福井県立大学教授

作新学院大学地域発展学部教授

同大学大学院客員教授等を歴任

専門：中小企業論

主な著書：「中小企業の経営戦略」

「エレメンタル中小企業」等

SDGs と印刷会社のコンサルティングセールス

ファイルティーチャー 代表 世古真一
CLICK 編集室 主幹 福田七衛
聞き手：CLICK 編集室 スタッフ 杉本なつみ

今号の特集は久しぶりに金谷貞夫様の御登場でした。頂いた原稿を基に、杉本なつみが、レギュラー執筆を頂いております、ファイルティーチャー代表の世古真一氏と福田七衛主幹を交えて対談しました。

杉本：世古様は90年頃から、フォーラムGSIをはじめとして、誠伸商事のセミナーに関わって頂いたり、当CLICKに数多く執筆頂いておりますが、久しぶりに金谷先生の文章をお読みになった感想をお聞かせ下さい。

世古：先進国と発展途上国の両方を考慮し、SDGsを文字からアイコンという画像表現にシフトしたことに着目していましたが、中小企業のあり方を常に考えている、金谷様らしい文章だと思い、久しぶりに引き込まれました。誠伸商事のフォーラムの仕事でよくご一緒させていただきましたが、たくさんの論客の中でも金谷様は「中小企業の味方」というのが私のイメージです。私は90年に印刷会社の営業の仕事に別れを告げて独立し、タイムマネジメントやファイリングのセミナーの企画や講師を務め、原稿執筆等、様々な事業を行ってききましたが、小企業の一人として、金谷様の文章にはずいぶん励まされてきました。いつ頃の記事かは失念してしまいましたが、金谷先生が、作新学院大学院教授時代に、「聞く力と話す力を研ぎ直し、心に響く『ことば』を紡いでいける人材をこれからの中小企業が育てていかなければならない」と言うような内容の特集記事が印象に残っています。

杉本：これからの中小企業が育てていかなければならない人材とはどのような人材と言われていたのですか？

世古：印象として残っているだけです、もしかしたら、金谷様の言っていることとは違うかもしれませんが、金谷様の文章をきっかけとして、思ったことは、コンサルティングセールスを基本とする人材を中小企業は育てなければならぬと言うことです。私は、大学で産業心理学を学んだこともあり、また、なぜか、中学生の頃からコンサルティングに興味があったので、縁があって就職した印刷会社の営業で、コンサルティングスキルを基礎にしてそれらを活用しながら営業をしていました。コンサルティングスキルでお客様のニーズを効率よく引き出すことができたので、満足していただける企画提案ができて、出来上がった印刷物についてはとても喜んでいただきました。会社を辞めて30年以上経ちましたが、当時のことを感謝され今でもそのお客様とお付き合いが続いているほどです。

杉本：世古様の印刷産業に込めた思い入れのすごさをいつも感じていますが、コンサルティングセールスが、金谷様の記事の、聞く力と話す力を研ぎ直し、心に響く『ことば』を紡いでいける人材ということにつながるのですね。

世古：そうかもしれませんが、今まであまり気がつかなかったことですが、独立してから30年過ごさせてもらったということは、最初に就職した印刷会社の営業という職種を通して様々なことを印刷産業の中で学び、考え、

行動して成長させていただいたことに、感謝していますし、その仕事を尊重し、今、自分ができることで、何らかの恩返しをこの産業にしたいと考えています。その中から学んだカウンセリングセールスは印刷会社の営業の基本のように思います。1988年に当時の誠伸商事の社長である、福田七衛主幹に出会った時もカウンセリングセールスについての話で意気投合し、そのことがご縁で今でもこうしておつきあいをさせていただいているのだと思っています。ですから、時代が変わっても普遍的な考えであるのではないのでしょうか？

杉本：さて、4月に入り、日本銀行が1日に3月の全国企業短期経済観測調査（短観）と大企業・製造業の業況判断指数（DI）が発表されましたが、福田主幹はこの発表をどのように考えておられますか？

福田：前回の昨年12月調査から8ポイント悪化し**マイナス8**となりました。悪化は5四半期連続で、2013年3月調査以来、7年ぶりに大きいマイナスです。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による需要の減少や、中国での生産停止が長引きサプライチェーン（部品供給網）が寸断されたことで、輸出企業を中心に悪化幅が大きかったそうです。大企業・非製造業は12ポイント悪化のプラス8で、13年3月調査以来の低い水準。訪日外国人客の急減に加え、各種イベントの休止や外出自粛による需要の低迷が大きく響いています。短観は全国約1万社が対象で、DIは景気が「良い」と答えた企業の割合(%)から「悪い」と答えた企業の割合を引いた指数です。回答期間は2月25日～3月31日なので感染拡大による影響が大きく反映された模様です。大変な状況になってきました。恐慌状態に突入しそうな勢いです。恐慌とは、恐れ、慌てる状態を表します。目先で起きていることに恐れ慌てる前に、自分を中心に世界全体を俯瞰して今自分が何をすべきかを

考えることが重要なのではないのでしょうか？

新型コロナウイルスの世界的な拡大に振り回されて、生き残りのための大戦争が起こりそうですが、今回の金谷さんの記事の中にもありましたように「一人も残さない」というSDGsの持続可能な開発目標達成に向かう努力を続けていきたいですね。

杉本：本当に大変な時代に突入してしまい、正直不安で一杯の毎日ですが、諸先輩の皆様とこうして仕事をさせて頂いている現実を自分の糧として、目の前の仕事に一生懸命取り組みながら私なりにSDGsに貢献出来ることを模索していきたいと思いました。ありがとうございました。



ある日のたわごと

福田七衛

私、運転免許証を返納したのが平成30年(2018年)5月11日。既に2年がぎ、車に依存した日々の生活とは打って変わって大きな環境変化をもたらすこととなりました。その後、見事にその変化に慣れ、今日では車に頼らず、不自由を感じることも無い生活となりました。

日々の通勤も毎日自宅から最寄駅まで約12分の徒歩、駅での電車の待ち時間を加えて約13分の乗車時間、そして下車駅から当社までこれまた約12分位の徒歩時間、おおよそ合わせて40分の出勤に要する時間を毎朝としており、勿論帰路も所用無き時は同コースを利用しております。最近では両方の駅近くに開店した今、流行りのワインハウスに立ち寄ることが、少々困惑の種となっている此の頃です。しかし2年前まで定期的に運動不足を補う為のジム通いは不必要となりました。

3月20日は春分の日、そして21日(土)、22日(日)の3連休、その初日20日を私は散策コースに多摩台公園を選びました。天候も良好で、午後早々に出発すると家から10分位で公園の西の端の入り口に着き、坂を登って行くと、何時もより賑やかな子供の声に少々惑わされました。考えればコロナウイルスによる休校で平素は運動好きな子供達が大勢集まり、元気を出している姿を見て、自ずと笑顔が綻びる気分となりました。多摩台公園は、かつて老木となった桜の木が大方伐採されており、今日では植樹された若木の育成を待つ今日であります。桜花爛漫を知っておる私達の様な余人には寂しさを感じるでしょう。早速、散策コースに入るや多摩川を眼下にして、右の彼方に大山、塔が丘、富士山、蛭ヶ岳、そして滝子山が実に美しく、私しばしうっとりして眼を下に向けると水量は少ないながら多摩川の流水が目に見えました。おそらく源流である日原川、丹取川、そして奥多摩湖のいずれかから流れ出る水でしょう。しばし意のままに歩を進め乍ら、公園の丘陵

約600m程散策し、最高の気分となりました。右遠くには今迄の映像とは異なり、川崎界隈のビルが連なっておりました。これらの眺望こそ、現在に生きる者への映像として加えられた更なる情景となった1コマと思いつつ歩を進め約50分の散策の終わりとなりました。時節によってはヒヨドリ、ツグミ、そしてセキレイ等にも出会えることもあるこの多摩台公園は私にとって憩いの拠り所で今回も公園の片隅の椅子に一時着いて、独り善がりの思いを馳せました。そのような中、御無沙汰打ち過ぎておる、横倉建男氏に電話致し、更にその後も私の実弟の三回忌にお会い致し、思いのままに文章を書いて欲しいとお願いしました所早速頂戴しましたので下記掲載致すこととしました。

『学問のすゝめ』拾い読み

横倉建男

福田七衛会長とお付き合いをさせていただいて数十年になります。契機は会長の弟であられた裕衛様が私共の本家の長女と縁組したことによります。業界も異なる小生ですが会長のビジネス活動と業界への精力的な貢献に常日頃から敬服しております。

小生もサラリーマン時代に多くの国内外の営業人にお会いしましたが会長ほどの卓越した営業人にお会いすることはありませんでした。卓抜した営業人！これは会長が限りなく人間好きなパーソナリティであるからと拝察しております。営業職または営業マン等と申しますと世間ではやや低い職のごとく受け取る方がいらっしゃるかもしれませんが。これは認識不足も甚だしいことであり全く間違った考えです。

テレビや新聞その他の媒体を通してアメリカの大統領や安倍首相等世界のリーダーが行っていることは世界をまたにかけた営業活動以外の何物でもありません。政治や企業だけでなく世の中の組織の長の仕事は

究極は営業活動に尽きると思っています。
組織にかかわる者は上も下もすべて営業マンであることが必須であると信じます。

福沢諭吉の著作に『学問のすゝめ』があります。福田会長とは、小生が同窓のよしみであることから、敢えてこの書を紹介させていただきたいと存じます。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり。」の書き出しで有名は本書は全十七編からなっており、一編を明治五年二月から書き始め明治九年十一月に十七編を完了しております。

以下小生が気に入った箇所をほんの少し拾い読みしてみます。

○諺に云わく、天は富貴を人に与えずして、これをその人の働に与える者なりと。(一編)

○独立の気力なき者は必ず人に依頼す、人に依頼する者は必ず人を恐る、人を恐るゝ者は必ず人に諂(へつら)うものなり。(三編)

○学校も官許なり、説教も官許なり、牧牛も官許、養蚕も官許、凡そ民間の事業十に七、八は官の関せざるものなし。(四編)

○政府は衆知者の集まる所にして、一愚人の事を行うものと云うべし。(略)今の政府は官員の多きを憂るなり。ことを簡にして官員を減ずればその事務はよく整理してその人員は世間の用を為すべし、一挙して兩得なり。故(こと)さらに政府の事務を多端にし、有用の人を取て無用の事を為さしむるは、策の拙なるものと云うべし。(四編)

○西洋諸国の史類を案ずるに、商工業の道、一つとして政府の創造せしものなし。(五編)

○政府は国民の名代にて、国民の思う所に従い事を為すものなり。(六編)

○女大学と云う書に、婦人に三従の道あり、稚(おさなき)時は父母に従い、嫁する時は夫に従い、老ては子に従うべしと云えり。稚き時に父母に従うは尤もなれども、嫁して後に夫に従うとは如何にしてこれに従うことなるや、その従う様を問わざるべからず。女大学の文に拠れば、亭主は酒を飲み、女郎に耽り妻を罵り、子を叱りて、放蕩淫乱を尽くすも、婦人はこれに従い、この淫夫を天の如く敬い尊み、顔色を和わらげ、悦(よろこ)ばしき言葉にてこれを意見すべしとのみありて、その先の始末をば知らさず。(八編)

全十七編の最後は「人にして人を毛嫌ひする勿れ。」で終わるのですが、人間好きな福沢諭吉に出会った感じがします。福沢は古くて新しいと言われます。この先はぜひ実際の書籍を手にとって読んでいただきたいと願っております。

出典:『福澤諭吉著作集 第3巻 学問のすゝめ』(慶應義塾大学出版会(株))

■プロフィール

横倉 建男(よこくら たけお)

昭和 40 年に慶應義塾大学経済学部を卒業後、佐々木硝子(株)へ入社。

4年間の勤務を経て、昭和 44 年 キヤノン(株)へ転職。

昭和 51 年 キヤノン USA (ニューヨーク州)

電卓・プロダクトマネージャー、

その後、キヤノン販売(株)を経て、

キヤノンシステムアンドサポート(株)

常務取締役就任、現在は既に退社。

印刷業向け統合経営支援ソフト
FileMakerテンプレート

印刷管太郎 XI

パッケージ版 / ASP版